



【編集・発行】侍浜町振興協議会 侍浜市民センター (☎0194-58-2110)

【裏面記事】

- ・角柄自主防災会 防災訓練
- ・侍浜町老人クラブ連合会と久慈市老人クラブ連合会 懇談会
- ・侍浜小学校 狂言の世界を体験
- ・まごころサンタ大作戦
- ・久慈拓陽支援学校「拓陽祭」
- ・白根会老人クラブ五十周年集會
- ・侍浜駐在所から
- ・市民体軟式野球優勝 久慈市代表に
- ・お知らせ
- ・侍浜町の人口と世帯数

新年のあいさつ

侍浜町振興協議会 会長 久慈清悦



新年おめでとうございませす。

侍浜町の皆様には、新年をお健やかにお迎えのことお慶び申し上げます。

侍浜町振興協議会の事業につきまして、総会と官公署等職員歓迎会を四年ぶりに開催することができました。その後、夏祭りや敬老会、文化祭等を役員の皆様と協議しながら開催しようとしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止を余儀なくされたところです。

各部等の事業につきましては、順調に推移しているものと捉えてあり、町民の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年の侍浜町の出来事を振り返りますと、日本全国で災害が頻発しているところであり、地域防災力の向上への取り組みが必要となっております。

市では自主防災組織の結成に取り組んでいるところであり、一月に角柄町内会が、五月に保土沢町内会と横沼町内会が、七月に堀切町内

会、本町町内会と桑畑町内会が認定を受けました。このような取り組みが、町内全域へ広がりをみせている事は大変喜ばしいことと思っております。

民泊関係におきましては、対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」や東京農業大学の食農フィールドスタディ、夏井小学校児童の侍浜町での民泊などが実施されたところであります。

叙勲等につきましては、松館俊夫さんが瑞宝単光章

を、久慈匡弘さんが厚生労働大臣表彰を久慈宏之さんが防犯運動功労者表彰を受章、本波ゆき子さんが環境衛生活動功労で表彰されるなど、授章等をされた方々の長年の活動に対して敬意を表するものであります。

小中学生の活躍においても、侍浜柔道教室スポーツ少年団や野球の侍浜スポーツ少年団、わたしの主張久慈地区大会での侍浜中の久慈未紘さんの活躍等があったところであります。

また、侍浜町における少子高齢化や役員の担い手不足などに対応するため、令和四年度から市の未来づくり事業を導入し、対応策の検討を進めているところであります。今後におきまして、組織のスリム化や町内全体の行事の見直しについて、役員の皆様や町内の皆様のご意見を伺いながら実施して参りたいと考えておりますので、積極的に関係の会議等に出席し、ご意見等いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和六年は、辰年であり、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年と言われております。この辰年にあやかって、侍浜町の皆様が健やかに過ごされ、当振興協議会が時代に合せて飛躍していくことをご祈念申し上げます。

令和5年の侍浜町五大ニュースは、「角柄・保土沢・横沼・堀切・本町・桑畑町内会自主防災会」組織結成が第1位となりました。令和5年は6町内会が自主防災会を結成し活動を開始しました。災害に対する意識の高まりを感じさせます。

また、第2位は令和5年春の叙勲にて松館俊夫氏が「瑞宝単光章」受賞です。松館俊夫氏は郵政事業の発展に尽力されました。また、現在もスポーツ指導などの活動をされています。僅差で6位となりましたが、久慈宏之氏 防犯運動功労者表彰を受章もありました。その他では、「猛暑」、「新型コロナウイルス感染症第5類へ」、「インフルエンザの流行」「クマの出没」、「サル、シカ」の出没も多く、今年は大変な1年となったと感じる方が多かったのではないのでしょうか。

令和5年の侍浜町五大ニュース及び掲載号は次の通りです。

- 第1位 「角柄・保土沢・横沼・堀切・本町・桑畑町内会自主防災会」組織結成
- 第2位 春の叙勲 松館俊夫氏 「瑞宝単光章」受章 (6月号)
- 第3位 令和五年度わたしの主張久慈地区大会 久慈未紘さん (侍浜中三年) 優良賞受賞 (10月号)
- 第4位 侍浜スポ少 久慈市予選で優勝 軟式野球県大会へ (8月号)
- 第5位 久慈匡弘氏 「厚生労働大臣表彰」受章 (8月号)

令和5年 侍浜町五大ニュース決定!!



十一月二十一日(火)、盛岡市観光文化交流セン

食の匠に認定

タイプラザおでつてにおいて、「食の匠」の認定証書交付式が開催。侍浜町から澤口ゆうこさんが手打ちうどん「いげばつと」が見事認定されました。

侍浜町では四人目の、横沼からは三人目の認定となり、地域の食文化や郷土料理等に関する知識や技術の伝承、情報発信等に重要な役割を担っていただいています。



澤口さんは、「大切な古

里の味を多くの人に伝えたいという思いが強まった。若い世代や県内外に広く発信し、地域の活性化に努めていきたい」と話していました。

「年忘れの集い」が盛大に開催

十二月九日(土)、「デイサービスセンターさむらい」で、年末恒例の「年忘れの集い」が盛大に開催された。十五回目を迎えたこの催しは、普段、娯楽の少ない高齢者にとっては心待ちの大イベントである。

今回の年忘れの集いは、コロナ禍による行動制限が大幅に緩和されたこともあって、バラエティに富んだ演目が舞台狭しと演じられた。

プログラムのトップは、平均年齢九十歳のデイサービス利用者による歌謡体操である。「北国の春」の曲に合わせて元気に身体を動かしていた。

今回、最大の呼び物は、昨年四月、久慈警察署侍浜駐在所長として赴任された、昆博泰さんによるトラペット演奏である。昆所長は交通安全の講話を交えながら、「青い山脈」「瀬戸の花嫁」となりのトトロ

を高くに演奏し、満員の観客を魅了した。コロナで三年ぶりの出演となった侍浜郵便局長の山下豊さんは、トランプやコインを使用してお得意のマジックである。名付けて「ポストマジックショー」で高齢者や園児たちを煙に巻いていた。

保育園「そら組」の男児は、一週間前の「おゆうぎ会」でも披露した鳥羽一郎の「兄弟船」を凛々しく踊り、華やかな振り袖姿で登場した女兒が、「川の流れるように」をあでやかに舞うと、拍手はしばし鳴り止まなかった。

福祉会副理事長の亀田サチコさんはフラダンスを優雅に舞い、舞踊愛好会「弥生貴富士会」の皆さんは「浪花節だよ人生は」、「柔」などを踊り、喝さいを浴びていた。

トリは義昭理事長のギター弾き語りである。福祉会職員の結婚を祝って、長洲剛の「乾杯」を歌った。会場の灯りが消え、たくさんペンライトが揺れると涙ぐむ人たちもいて、会場はさながら感動的な結婚披露宴のようだった。最後に理事長が「今年一



年間の悲しかったことや嫌なことをすべて忘れて、来年も元気で通ってくださ」と挨拶をすると、利用者たちは「うん」とうなずき、晴れ晴れとした顔をして送迎バスに乗り込んでいった。

### 角柄自主防災会 防災訓練実施



角柄自主防災会(小向進会長)では、十一月二十六日(日)九時三十分から元侍浜小学校角柄分校を会場に防災訓練を実施しました。



始めに久慈消防署職員から住宅用火災警報器と野焼きに関する話をして頂いたあと、一つ目の訓練として通報訓練を実施。代表の三名が一九番に直接電話する訓練で、緊張や焦りから何を言ったら良いか、どのような受け答えになるかなどを参加者で共有する有意義な機会となりました。二つ目の訓練は教室を使って煙体験訓練を実施しました。室内に煙が充満し何も見えない状態で室外に脱出する訓練で、参加者の

### 侍浜小学校 狂言の世界を体験

十一月二十八日(火)、侍浜小学校において、文化庁の学校巡回公演事業により、狂言の公演が行われました。



公演は、三宅狂言会のみなさんが来校して実施。小学校の体育館に舞台がセッティングされ、狂言の世界が作り出されました。公演では、「茸」などの

### 侍浜町老人クラブ連合会と 久慈市老人クラブ連合会 懇談会を開催



十二月八日(金)、侍浜地区老人クラブ連合会と久慈市老人クラブ連合会との懇談会が、侍浜市民センターにおいて行われました。

最後に、校庭において消防訓練を行いました。二十三人の参加者全員が消火器を実際に操作し、消火訓練を体験しました。自主防災会として初めての訓練でしたが、充実した訓練となり、今後も定期的な実施し、自助・共助に役立てたいと思います。

### 感謝の気持ちを込めて くまのこころサタ大戦

侍浜中学校生徒会では、十二月七日(木)に、「くまのこころサタ大戦」を実施。この取組みは、地域の



演目を実施。鑑賞だけでなく、児童も舞台に立ったほか、衣装を着るなど体験をさせていただきました。児童は当日の鑑賞等に加え、事前の準備から携わり、協力して狂言の舞台を創り上げる事ができました。

狂言は日本の伝統芸能であり、無形文化遺産でもあることから、今回の鑑賞や体験は児童にとって貴重な機会となりました。



今年度も感染症対策のため、地域の方のご家庭や施設などへの訪問は自粛し、道路を中心に落ち葉拾いを行いました。



### 久慈拓陽支援学校 「拓陽祭」開催

十一月十一日(土)に、拓陽祭が開催。今回は、コロナ禍以前の拓陽祭のように運

営することができ、盛大に盛り上がりました。スローガン「未来へ過去から今に引き継ぐ拓陽祭」のもと、全員一丸となり成功させることができました。加えて、外部販売や中学部・高等部の作業製品販売、PTAバザーが会場をさらに盛り上げてくれました。ステージ発表では、児童生徒の大きな成長の様子が見られ、作品展示では、個性あふれる色とりどりの作品をご覧いただくことができました。

た。活発な意見が交わされる充実した懇談会となり、最後は参加者で記念撮影を閉会となりました。

### 白横会老人クラブ 五十周年集会開催



十二月十五日(金)、横沼公民館にて、「白横会」の五十周年を祝う記念集会在開催されました。

白横会は、昭和四八年七月六日に結成。これまで様々な活動を重ね、五十年という節目を迎えました。記念集會では、五十年記録集や記念品が配布されたほか、囲碁ボール、ビンゴゲームなどで親睦を深めました。昼食会も開催し、盛大な記念集會となりました。

### 侍浜駐在所から 窓口業務の 時間帯変更

岩手県警察では、交通事故の発生が多い夕方の時間帯の街頭活動の強化と、長時間労働の解消のため、窓口業務の受付時間を令和六年一月四日から変更します。

詳しくは侍浜駐在所もしくは久慈警察署へお問い合わせください。

令和六年一月四日  
■受付時間(変更後)  
午前九時から午後四時

### 市民体軟式野球競技 侍浜町体協見事優勝 久慈市の代表に

十一月十九日(日)、久慈市営野球場を会場に、市民体育大会軟式野球競技決勝が開催されました。

負けると敗退となるトーナメント方式の中、接戦を勝ち抜き、決勝へ進出。決勝では大川目町体協チームとの対戦となりましたが、相



手の棄権による不戦勝となり、見事優勝を決めました。侍浜町体協チームとしては数年ぶりの優勝となり、選手皆さんの努力が結果した結果となりました。今回の優勝によって、来年、八戸市で開催される北奥羽総合体育大会の野球競技に久慈市代表としての出場が決定。大きな舞台でさらなる活躍が期待されます。

### お知らせ

- 〇一月(睦月)
- 四日 官公庁仕事始め
- 四日 市民新年交賀会
- 六日 小寒
- 七日 久慈市二十歳のつどい
- 八日 成人の日
- 十一日 冬休み！子ども塾
- 十二日 侍浜中三学期始業式
- 十五日 市政懇談会
- 十六日 侍浜小学校三学期始業式
- 十六日 久慈拓陽支援学校冬季休業明け全校集会
- 十八・二十三日 侍浜小冬休み作品展
- 十九日 侍浜市民センター開放の日
- 二十二日 久慈市中学校リーダー交流会
- 二十四日 岩手県立高等学校推薦入学者選抜試験
- 二十五日 久慈拓陽支援学校高等部入学者選考
- 二六日 侍浜小児童総会
- 三一日 侍浜小薬物乱用教室

### 侍浜町の人口と世帯数

(令和5年11月末現在)

〇人口	2,148人	(-27)
男	1,017人	(-15)
女	1,131人	(-12)
〇世帯	1,005世帯	(-4)
	※	( )内は前年比